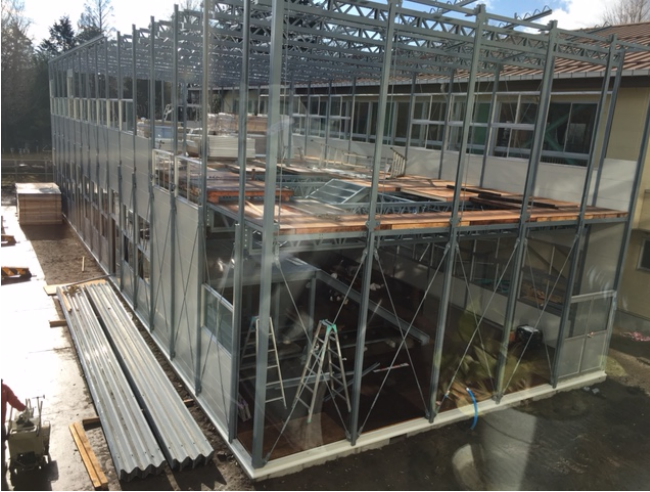




# みちくさ

2017. 2. 8 No. 40

## プレハブの建築が進んでいます



3月中旬の引き渡しを目途に、プレハブの建築が進んでおります。片平自慢の校庭芝生も、現在半分は大きな鉄板でふさがれてしまっています。(建築後にかなりの部分を復旧されるようですが)

プレハブが使われるのは、何も初めてではありません。平成の時代になる前から、校庭東側にある倉庫のあたりに4教室分のプレハブがあり、家庭科室から渡り廊下を使って移動するようになっておりました。その奥には、これまた古い体育館が繋がっていたわけです。平成7年に、一度だけプレハブを使

った4年生の担任になりました。本校舎からは離れていて、それに隣の教室も空いていたので、使い勝手としてはよかった記憶があります。ただ、現在のプレハブとは違い、エアコンも無かったし、冬も寒かったですね。夏休みに閉め切った教室に行ってみたら、熱中症になるかと思うくらい、室温が高かったですね。それに2階だったのですが、一部床がふわふわしていて、下まで抜けないかとびくびくしていたものです。もちろん現在の建築ではそんなことは全くないので心配はありません。

来年度からは4年生3クラスがここに入ることになります。トイレも完備になります。ただ、給食の運搬が遠くなるので、配送パートさんたちにはご迷惑をおかけすることになります。

## ブラスバンドが神戸へ遠征してきました

2月4日から5日と、神戸で行われた全国小学校管楽器合奏フェスティバル(西日本大会)へ、東日本からの友情出演の枠で、本校のブラスバンドが出演してきました。インフルエンザで6年生1クラスが学級閉鎖を行っている中で、部員にも5名の欠席が出て、かなり出場が危ぶまれたことは事実でしたが、なんとか子どもたちの頑張りで乗り切れたようです。

神戸への1泊2日の新幹線移動という強行軍でした。出演は2日目のお昼頃で、それに合わせ1日目は移動日、そして2日目も出演後はすぐにとんぼ返りという日程になってしまいました。いざ参加してみると思いも寄らなかった事態に。40名近い子どもたちが大きな荷物を抱え、そして楽器を持っての新幹線乗車になります。特に新神戸駅で停車時間1分と表示のある中での乗降はどういう状況になったか。ご想像にお任せします。

会場となった神戸文化ホールというところは、だいたい2000人くらいは収容できるホールでしたが、大変

音響が優れていることが、素人の私の耳でも解りました。バンドの演奏がとてもよく客席まで届くのです。そして、ホール内では携帯電話が全く機能しないようになっています。始まる前はメールなども着信していましたが、物理的に繋がらないように主催者側でコントロールできるのでしょうか。演奏中に着信音が鳴ったりしたら最悪ですからね。昨日の演奏は、全て録音されていたようでした。こんな素晴らしい音楽ができる中ホールを、ぜひ仙台市にも欲しいなど、本気で思いました。

ところで、個人的には神戸に行くのは2度目でした。1度目は、平成6年の10月頃でした。ちょうど阪神淡路大震災から2年も経過していない時期でした。目的は学会参加のためでしたが、震災前から開催が決められていたとはいえ、かなり厳しい状況の中、敢えて神戸市では大会を開催することにしたようです。震災からの復興半ばである状況を全国の人たちにも見てもらいたかったのかと思います。三宮のあたりにホテルをとりました。あの辺りも、道路が壊れ、地面の液状化が見られていた地域です。さすがに震災直後ではなかったのですが、壁にヒビが入ったビルなど、普通に見られていました。

20年以上ぶりに行った神戸は、すっかり生まれ変わり、素敵な町に変わっておりました。



## おひな様を飾りました

職員室前におひな様を飾りました。昨年もお知らせいたしましたが、昭和初期に同窓生である相馬黒光さん（随筆家、新宿中村屋創業者）から送られた雛人形だということです。上巳の会には、中村屋の月餅をいただいたことがあると、同窓会の前会長さんである齋藤壽久さんからも教えていただいております。

なるほど、人形の一つ一つをよく見てみると、かなりの年代物であることがわかります。昔はどこのおうちにもおひな様がある時代ではなかったので、みんなで飾って大切にしてきたのでしょね。これからも大事に飾っていきたいと思います。

どうぞ、学校にお寄りの際には、ご覧いただければと思います。